

令和5年度「横浜下水道 150 および今後の下水道広報に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q11の「下水道広報の必要性」に対する回答では、「必要だと思う」を選択された方が75.4%であったことから、下水道の広報は必要だと感じていただいていることがわかりました。

また、Q14の「適している広報媒体」に対する回答では、最も多かったのが「広報よこはまなどの広報紙」の79.3%、次に多かったのが「横浜市ウェブページ」の49.3%であったことから、今後も広報よこはまやウェブページを活用した効果的な広報を展開していきます。

2 アンケートを実施した感想

Q14の「適している広報媒体」に対する回答の結果が、「オ LINE」、「カ ツイッター（現在：X）」、「キ YouTube」等SNSによるデジタル媒体よりも、「イ 区役所などで入手できるパンフレットやチラシ」、「ウ 区役所などの公共施設や駅に貼られているポスター」によるアナログ媒体を選択された方の割合が多かったことは、広報手法を考える際の参考となりました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

アンケート回答にご協力いただき、ありがとうございました。「横浜下水道 150」の効果測定に加え、情報をお伝えするために適した広報媒体や下水道事業への認知状況など、様々なご回答をいただくことができました。横浜市に近代下水道が初めて導入されてから150年が経過しました。今後の150年を見据え、更なる下水道広報を展開し、皆様に下水道の役割をしっかりとお伝えしていくため、引き続き努めていきます。

担当：環境創造局下水道事業マネジメント課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。